

ももの収穫始め予測（令和7年）

長野県果樹試験場(6月17日)

ももの成熟日数（開花期から収穫期までの日数）は、硬核期までの気温に大きく影響を受けます。
果樹試験場（須坂市小河原）では、過去の生態と平均気温の関係を調査し、主要4品種について、満開日の翌日から50日間の平均気温が高いほど、成熟日数が短くなる関係を認め、これを基に作成した収穫予測式（平成29年 第2回技術情報）により、収穫始めを予測しています。
本年のももの満開は平年並み～早く、その後の気温はやや高く推移したことから、収穫始めは平年に比べて2日程度早まる予想です（表1）。
実際の収穫にあたっては、内部品質を良く確認し、適期の収穫を心がけましょう。

表1 令和7年度 長野県果樹試験場におけるもも4品種の収穫始め予測

品種	満開日	満開後 1～50 日の平均気温	満開から 収穫始 めまでの 日数	収穫始め (予測日)	平年比 (実績)	昨年比 (実績)
白鳳	4月21日	16.8℃	100日	7月30日	－2	＋1
あかつき	4月20日	16.6℃	101日	7月30日	－2	＋1
なつっこ	4月20日	16.6℃	110日	8月8日	－2	－1
川中島白桃	4月23日	16.9℃	121日	8月22日	－2	＋7

気温は地域気象観測システム（アメダス、長野県長野）より
平年値は2005～2024年の平均値。